

鬼北の文化

発行所
鬼北町文化協会
(鬼北町教育委員会内)
TEL45-1111
発行人
松岡美保

文化協会二十周年に

あたって

鬼北町文化協会会長

松岡美保



今年度、鬼北町文化協会は平成十七年五月の創立から二十年度の節目を迎えることができました。今回二十年度の節目で会報「鬼北の文化」第四十二号を特集号として発行しました。内容としては、平成二十八年三月に発刊された記念誌「鬼北町文化協会十年の歩み」を引き継いだもので、将来発行が予想される「記念誌」等の資料として役立つ会報になれば幸いです。

合併後は、「鬼北町文化協会規約」の目的・組織等に沿って各事業を行ってききました。特に、三大事業である「きほく作品展」・「きほく芸能まつり」・

「県展移動展」等は、一時期コロナウイルス感染拡大で開催が中止されましたが復活し、現在に至っています。各団体に於いても、個々に活躍され有意義な活動が行われています。今後も、各団体への後押しができる体制を構築できればと考えています。座右の銘は「継続は力なり」としていますが、これは各団体（会員）・鬼北町の協力等があったことです。人口減少に伴い、加入団体が減少し、問題が山積しています。今後は、各地域に於いて小グループで活動されている方々にも呼び掛けて、協会組織の拡大・充実を図っていくことも大事な役目だと思えます。慣例にはありませんが、可能な事業・行事等を毎年開催し、新しいこと等を取り入れながら活動することが次世代へ継承されると信じています。

ところで、令和十年に国民文化祭が愛媛県で開催されることが決定しました。鬼北会場として参加する団

体にとっては、全国にアピールができる最高のチャンスです。まだ開催についての詳細は決定していません。詳細が決定しましたら、追ってお知らせします。

令和七年の国民文化祭は長崎県で開催され、「ながさきピース文化祭二〇二五」（第四十回国民文化祭）及び（第二十五回全国障害者芸術・文化祭）に視察研修者として参加させていただきました。視察先は、「ながさきピースアート展」と「いけばなの祭典」の二つで、前者の展示会は、障害者の方と県展に入賞された方の作品が同じ会場に展示されていました。障害者の方の作品解説では、ご家族や施設の方など身の回りの方の優しい言葉で綴られており、見学者に感動を与えるものになっていました。また、照明等の設備も充実した環境での展示となっていました。

視察二件目の「いけばなの祭典」は、五つの流派のお家元が、高さ三メートルほどの大作を展示しており、来場者が圧倒され注目を集めていました。会場のスタッフの方々には、笑顔でおもてなしをいただき、心温まる思いで帰路に着きました。今回の視察研修の目的は十分に果たせたと

実感しています。

来年度は、高知県を会場に開催されます。隣県での開催なので、各団体が他県の発表活動の場を見学することで何か吸収できるものがあると思います。また、研修旅行先についても国民文化祭の見学等を取り入れて計画したいと思います。

日頃より鬼北町文化協会への御支援・御協力をいただいております。鬼北町・鬼北町教育委員会・地域町民の皆様方に厚くお礼を申し上げます。今後とも、御指導・御鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。



小原流お家元の大作
(ながさきピース文化祭2025 いけばなの祭典にて)



幼稚園児作成 文化祭ロゴマークのモザイクアート
(ながさきピース文化祭2025ながさきピースアート展にて 事務局・会長)

文化協会二十周年に際して

鬼北町の取り組み

鬼北町長

兵 頭 誠 亀

昨年秋、日吉の富母里神楽を拝見する機会があった。寒い日であったが、地元の方だけでなく神楽そのものを愛する他地域の方の観覧もあり、地域行事の奥深さを感じた。また、地元の中学生在が笛や太鼓に挑戦している姿には、微笑ましさとともに驚き・感動さえも覚えた。

また十二月には、南海放送本町会館で、ラジオ公開生ドラマ「風の男BUZAEMON」が開催され、「日吉一揆を起こす会」数名とともに参加した。

このラジオ公開生ドラマは、南海放送田中会長の肝入りで数多くのアナウンサーをはじめ、スタッフ総勢百名程に上る大イベントであった。その中に、日吉在住の青年ら五名も出演させていたでいた。

江戸時代の数ある一揆の中で、訴えが認められた希少な実話を、配役に乗り移ったがごとく感情豊かに表現さ

れていく。極めて質が高く、思わず見入って聞き入ってしまった。一時間程の生ラジオ番組はあつという間にフィナーレ。その場面では、私自身そして日吉の方々も感動し、涙腺にまで影響した。

時代が移り変わっても、鬼北日吉住民に根付く「思い・誇り」を松山の地で披露できたことはこの上ない喜びであり、本当に有難かった。

一方で、奈良山等妙寺史跡公園が完成オープンし一年が経過した。現在、文化財には、国の方針として、地域の方々の利用やまちづくり・観光のコンテンツとして「しっかりと活用」していくことが求められている。

その中で、現在の奈良山等妙寺歴史交流館の館長は毎月のように様々なイベントを計画し、歴史の解説だけではなく、どうしたらその公園・場所が来場者の心の中に寄り添えるか、リピーターとして率先して利用して

もらえるのか：そのような考えを巡らせながら活動していただいている。活動内容は多岐にわたり、「鬼北の名前の由来講演」「鬼のまちの妖怪プロジェクト」「紙芝居」「夕涼み会」「トレッキング♫雲海」「秋の朝修行」「等妙寺deぞえな祭」など、主となり従となり尽力いただいている。

さらに、日吉明星ヶ丘文化施設の活性化に向けて、「地域おこし協力隊」井谷氏が日吉地域内のみならず、県内外にて鬼北のPR・情報発信に活動されている。

鬼北の文化・まちづくりのため、心に汗かき奮闘される方々に心から感謝申し上げたい。



風の男BUZAEMONの収録に行った日吉一揆を起こす会のメンバー(近藤氏、大村氏、地域おこし協力隊の井谷氏・増留氏と娘さん)



富母里神楽で太鼓をたたく中学生



等妙寺deぞえな祭の様子



鬼北町文化協会合併後 十一〜二十年の歩み

《毎年の取り組み》

三大イベントの開催

- 一、きほく作品展（でちこんか 同時開催）
- 二、きほく芸能まつり
- 三、秋季県展移動展

会報の発行

- 鬼北の文化 九月一日号
- 鬼北の文化 三月一日号

研修及び他文化協会との交流会

〈視察研修・文化交流会他〉

平成二十八年年度

- 平成二十八年 五月十一日
- 芝令香元会長
- 愛媛県地域文化功労賞 受賞
- ひめぎんホール

十一月十七日

- 一日視察研修 二十名参加
- 高知県梶原町役場見学
- ” 津野町焼物工房

平成二十九年年度

- 平成二十九年 十二月五日
- 一日視察研修 十一名参加
- 西予市野村町土居家見学
- ” 城川町遊子川活性活動

平成三十年年度

- 平成三十年 十一月二十七日
- 一日視察研修 十六名参加
- 愛媛県久万高原町 久万美術館
- 愛媛県砥部町 坂村真民記念館

令和元年年度

- 令和元年 七月七日 鬼北洋楽グループ発表会
- 三間町三間公民館
- 鬼北洋楽グループ連絡会
- 十二月十五日 文化交流会
- 伊予郡松前町総合福祉センター
- 松前町文化協会
- 十五名参加

令和二年

- 二月四日〜二月九日 鬼北町中央公民館
- 二月十一日〜二月十六日 日吉住民センター
- 鬼北地区巡回美術展
- 鬼北地区文化協会連絡会

令和一年度

- 令和二年 四月二十四日
- 鬼北町文化協会総会 書面開催
- ※コロナ中止
- （第十六回芸能まつり、鬼北地区巡回美術展、研修・交流会）

令和三年度

- 令和三年 五月七日
- 鬼北町文化協会総会 書面開催
- 七月九日 きほく芸能祭り開催可否の調査
- 書面開催
- 十二月十日 きほく芸能祭り開催可否の調査
- 書面開催（第二回）
- ※コロナ中止
- （第十七回芸能まつり、鬼北地区巡回美術展、研修・交流会）

令和四年度

- 令和四年 四月二十四日 鬼北町文化協会総会 書面開催
- ※コロナ中止
- （第十八回芸能まつり、鬼北地区巡回美術展、研修・交流会）

令和五年度

- 令和五年 十一月十八日 第十九回きほく芸能まつり
- 暴風警報のため中止

令和六年 一月二十七日 九名参加

- 一日視察研修（各団体代表）
- 大洲市 大洲城・町並み散策



楽しいガイド付きの大洲研修

令和六年度

- 令和六年 三大イベント再開
- 令和七年 二月九日 一日視察研修 積雪のため中止
- （宇和島市伊達博物館・南楽園）

令和七年度

- 令和七年 十月九日〜十月十二日 第二十一回きほく作品展
- 広見体育センター
- 十一月十五日 第二十一回きほく芸能まつり
- 広見体育センター
- 十一月二十日〜十一月二十五日 第七十四回秋季県展移動展
- 広見体育センター
- 十二月十三日 一日視察研修
- 鬼北町奈良山等妙寺歴史交流館・史跡公園 八名参加



頂上の展望台で富田館長と記念写真

三月一日
会報「鬼北の文化」特集号発行

歴代文化協会役員名簿（平成27年度～令和7年度）

年 度	会 長	副 会 長		事務局長	会 計	監 事	
平成27・28年度	井芝 千章	佐久間 優	松岡 美保	宇都宮克己	山本美恵子	武田 国次	善家 慶子
平成29・30年度	井芝 千章	佐久間 優	松岡 美保	宇都宮克己	入船佳代子	武田 国次	善家 慶子
令和 1・2年度	井芝 千章	河添 英樹	松岡 美保	宇都宮克己	谷口美智代	武田 国次	佐々木友子
令和 3・4年度	河添 英樹	宇都宮克己	松岡 美保	薬師寺須賀子	児玉 正則	平野 邦彦	佐々木友子
令和 5・6年度	松岡 美保	宇都宮克己	武田 国次	児玉 正則	児玉 正則	井上 静雄	佐々木友子
令和 7年度	松岡 美保	井上 静雄	佐々木友子	児玉 正則	児玉 正則	中川 博之	川添 勝代

会 員 表 彰

※愛媛県文化協会「地域文化功労賞」受賞

平成28年5月11日開催の愛媛県文化協会総会に於いて、当文化協会の芝 令香元会長が標記の功労賞を受賞されました。芝 令香元会長は町内文化活動の発展向上や、鬼北町文化協会設立にも尽力され、設立後も会長職を務めながら近隣市町との文化交流事業の発展や愛媛県文化協会理事等の役職に就かれご活躍されました。

加入団体数（会報より抜粋）

年度区分	加入団体数	部 門 別 団 体 数			
		展 示	芸 能	文芸・生活文化	文化財・郷土芸能
平成28年度	63団体	20団体	18団体	13団体	12団体
平成29年度	59団体	21団体	13団体	13団体	12団体
平成30年度	55団体	18団体	13団体	12団体	12団体
令和 1年度	52団体	18団体	13団体	10団体	11団体
令和 2年度	46団体	15団体	12団体	10団体	9 団体
令和 3年度	42団体	14団体	9 団体	10団体	9 団体
令和 4年度	39団体	13団体	9 団体	9 団体	8 団体
令和 5年度	40団体	13団体	9 団体	9 団体	9 団体
令和 6年度	36団体	13団体	6 団体	8 団体	9 団体
令和 7年度	35団体	12団体	6 団体	8 団体	9 団体

山野草とともに

鬼北山野草会

武田 国次

鬼北山野草会として新たな活動を始めてから、今年で十五年目を迎えました。この間には、忘れ難い喜びとともに、深い悲しみや困難も経験しました。会員三名が亡くなられたこと、そしてコロナ禍により

二年間、展示会をはじめとする活動を中止せざるを得なかったことは、私たちにとって大きな試練でした。また、南予地方の他の山野草会が、高齢化とコロナ禍を機に相次いで解散するなど、山野草会を取り巻く環境は大きく変わりました。現在、鬼北山野草会の会員十一名の多くも高齢者であり、会の存続に不安を抱く状況となっています。だからこそ、私たちは山野草の魅力をより多くの方に伝えることを使命とし、若い世代を含む新たな仲間に興味を持っていただけるよう、年間五回の展示会を続けています。四月・五月

の展示会では、早春の息吹や華やぎ、そして多彩な山アジサイの美しさを紹介します。六月には、繊細な葉姿が涼を呼ぶ初夏の山野草を、十月には、実ものや紅葉が深まる秋を、十二月には、縁起の良い花木を用いた新春を飾る展示を行い、四季折々の自然の息吹を感じていただいています。

展示会では、会員それぞれが個性を活かし、草木の姿と鉢の調和、飾り方の工夫に心を尽くしています。訪れた方に「癒された」「季節を感じられた」などと言っていただけのように、作品一つひとつを丁寧に仕上げ、次回も足を運んでいただける展示を目指しています。また、展示会当日は、山野草愛好者との交流や情報交換が弾み、時間を忘れるほど意気投合し、互いの刺激となる豊かなひとときが生まれています。今後は、会員独自の作風を磨き、こだわりの逸品づくりに挑戦しながら、より魅力ある展示を目指したいと思います。草花を慈しみ、仲間と感動を分かち合い、心癒される時間をともに過ごすことは、私たちに

とって生きがいそのものです。山野草の静かな生命力に寄り添いながら、その魅力を次の世代へとつないでいくことこそ、それが鬼北山野草会の願いであり、歩み続ける力となっています。



初夏の山野草展の様子

太鼓集団 魁

太鼓集団 魁会長

二宮 吉 弘

この度は、鬼北町文化協会二十周年おめでとうございます。

当団体「魁」は平成二年二月に当時の広見町の支援を受け、町の活性化のため、町民の有志によって設立いたしました。当時近隣には太鼓チームが多く誕生しており「今更太鼓」と言う批判も多数ありましたが、創

成期メンバーの熱意と「太鼓集団天邪鬼」代表渡辺洋一氏を師として迎え入れ指導を受け、お稽古の度に脱落者が出るほどの厳しい練習にも耐え十一月発表会を迎えました。

以降、伝統を重んじる師の教えである「和太鼓のもつ音の追求」「受け継がれていく音」をテーマに練習を重ねております。平成四年には福井県で行われた国民文化祭に愛媛県代表として太鼓を披露する榮に浴する機会を与えてもらい、大変うれしく思いました。その後も大太鼓一本打ちで日

本チャンピオン二名、太鼓コンテストでも上位入賞等活躍しております。しかし発足当時のメンバーは還暦を迎え、ここ数年は七々八

名程度の人数での活動を強いられておりました。ここに来て小学生から高校生の子供たちが入会してくれて活気が少しずつ戻って来ています。その中に私の孫が二人おります。「じいちゃん練習行こう」そう言つては誘ってくれております。元々出席率があまりよくなかった私、今では一々二番の出席を誇っています。孫と一緒に同じ目標に向かって汗を流し泣き笑い、本当に幸せな時間を過ごさせてもらっております。私は今年、古希を迎えます。まだまだ老いるわけにはいきません。百歳までカッコイイ太鼓打ちであり続けたいと思っております。

さて魁と言う名前ですが「先駆ける先陣を切つて他者を導く」などという意味があり、そうありたいと常に思い願っております。これからも一層の努力と精進を重ね、より良い音を心地よいリズムを、そして笑顔

尚一層のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



会長と会長のお孫さんが一緒にステージに立つ様子



奈良山等妙寺史跡公園での演奏



愛治俳句会の活動

愛治俳句会

末 廣 典 子

一 月例会会(月一回)

第一金曜日、場所は公民館。会員八名。各自持ち寄った句をばらばらにして、そこから好きな句を選び評を述べる。自分の句は選ばず、他の人の句の良いところを出し、最後に久保田ユズル主宰がまとめをする。

二 吟行句会

コロナのためまとまって行くことはなくなったが、各自が俳句の種をさがしに遠出をする。旧愛治中を移築した牛舎を西予市に訪ねた。小さな銀杏の木を植えてスタートした牛舎は、今年でしまいとなる。木は



西予市の銀杏と牛舎

大木となりあたり一面黄金色にし、一トンになる黒牛をうかびあがらせていた。

三 句集発行

十三年前、小句集「山峡」を出した。今年続「山峡」を出す。故人となった者九州に里帰りした者、施設に入居した者、句集の中で今一度集うことになる。

四 俳句大会への参加

各地で主催される俳句大会に応募をする。松野町の不器男忌俳句大会・八幡浜市の赤黄男忌俳句大会・松山市の子規顕彰全国俳句大会等、様々に募集がされている。大会が好みそうな句を選び出展料と共に送る。

五 愛治「ふれあい祭り」で人気投票

回を重ね今年は七十名を越える投票があった。今年は入会して間もない会員の句が一位となり、悲喜交々会員も楽しませてもらった。動かした鉢の下には蟻社会 岡田 正恵



愛治「ふれあい祭り」での人気投票の様子

繋ぎ伝える

近永五つ鹿踊り保存会

下 田 新

「回れ回れ水車遅く回って関に止まるな」

歌と笛に合わせて踊る近永五つ鹿踊りは、宇和島の八つ鹿踊りをルーツに各地に伝えられたものの一つと考えられる。この踊りは、弓瀧神社の秋祭りの行事として五穀豊穡を祈願し古くから踊り継がれてきている。私も中学時代の三年間、踊り子として参加させていた。当時の世話役は川添

正高氏(のぼり店)・指導者は清家丸普美氏(豊店)・尾崎哲夫氏であった。本来の踊りは十番編成の本踊りと呼ばれるものだが、我々が教わった踊りは、三番編成の短縮版であった。現在の踊りは、さらに短く二番編成になっている。今となっては、歌詞が伝わるのみで、本踊りを知る方は残っていないと思われる。平成の時代には一時期中断していたこと



平成14年頃 活動再開時の様子

があったが、平成十四年に地域の要望に応え復活した。当時の各地区の神社総代の皆さんをはじめ、高田直義氏・広田憲明氏・田中豊氏の世話役を中心に尾崎哲夫氏の指導の下、繋ぎ伝えていただいた。その折に、鬼北町文化協会に加盟させていただき、今日に至っている。

平成三十年からは、河野昭夫氏と私で世話をさせていただいている。早いもので引き継いでから八年となる。その間に、時代は令和となり、コロナ禍での継承は困難を極めた。街頭での踊りはできず、弓瀧神社境内での奉納という形で何とか繋ぐことができた。ご協力いただいた踊り子の中学生やその保護者、関係者の皆様への感謝の気持ちでいっぱいである。

今後、伝統芸能の継承には課題が山積している。子供の数の減少・指導者の高齢化等々、挙げればきりが無い。厳しい状況ではあるが、先人が熱い想いを持って繋いでいただいた響を何とか次世代に繋げられるように努力していきたい。そして、近永の秋祭りに映える優雅な五つ鹿踊りの風景を、後世に繋ぎ伝えていきたい。



令和 6 年度開催時の様子

ふれあいのきほく作品

副会長

井上 静雄

広見体育センターの扉を開けると、第二十一回きほく作品展の世界が広がる。広々とした空間に、きほくの老若男女が持つている才能を見事に発揮されていて、素晴らしい。

とりこになった一つに小学一年生の「キラキラワニさん」がある。私の常識や創造を絶するユニークな創作スタイルと色使いのやさしきで、人間の感性つてどこまで深いんだ？と驚いた。また、保育所・小中高校生・老人クラブ・婦人会・書道団体・絵画・鬼北町フォトコンテスト入賞作品・山野草等、様々な『力作』が揃っている。会場では、日頃会えなかった人達との出会いも多く生まれて、心温まるのも嬉しい。

動を覚える。

これからも大切にしたいことは、その場に行つて『本物』に出会い、その発せられる魂の衝撃に揺さぶられることである。メディアを通して見聞きするのでは比べようもない感動がある。「皆さん、是非『本物』を見に出かけませんか」



作品「キラキラワニさん」



きほく芸能まつり

副会長

佐々木 友子

第二十一回きほく芸能まつりが、十一月十五日(土)十三時から開催されました。百五十二名の来場がありました。出演団体は、鬼北文楽保存会、輪の会 日吉支部、清吟堂 吟友会、鬼北スポーツダンスサークル、日吉コールナチュレル、富母里神楽保存会の皆様でした。そしてダンスチーム広蓮の皆様に来ていただきました。

広蓮のダンスでは、若いお母さん方の声援で、一気に会場が盛り上がりました。また、神社でしか拝見できない御神楽。そして文楽の見事な演出は格別でした。

事務局の児玉さん、理事の武田さんと一緒に受付をしながら、会員の皆さんの成果を見る事ができて、久しぶりに若返った気がしました。

照明音響の方々、司会の井上副会長をはじめ、皆さんの陰ながらのご尽力により、芸能まつりが大盛況で終えることができたと思えます。

当協会も、高齢化に伴い会員が減少して寂しいことですが、少しでも多くの方が参加されることを望んでいます。皆さんお疲れさまでした。



県展移動展(鬼北会場)について

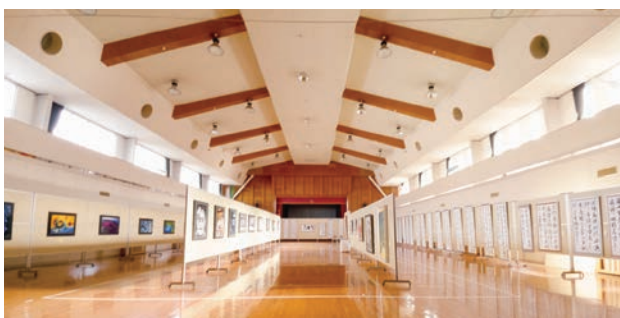
事務局長兼会計

児玉 正則

第七十四回秋季県展移動展が、十一月二十日(木)二十五日(火)六日間の日程で広見体育センターに於いて開催されました。展示作品は前期分と後期分を合わせて、日本画二点・洋画七点・版画一点・工芸三点・写真二十六点・書道三十八点、合計七十七点を展示することができました。会場では、

特選等受賞された作品の前で大勢の方が足を止められ、ご鑑賞いただきました。

県展移動展は、本協会が「地方文化振興のための展示会等の開催」として「重点事業」に掲げている事業の一つです。作品は地元及び近隣の市町出身者のご厚意により開催ができています。ご協力いただきました出品者の皆様には、心より感謝申し上げます。



編集後記に代えて

編集委員長

河 添 英 樹

「鬼北の文化」第四十二号は、特集号でお届けします。

本年度は、鬼北町文化協会が誕生してから二十年の節目に当たります。そこで記念誌の発行を視野に入れ、検討を重ねました。結局諸種の事情から特集号とすることにし、理事会の承諾を得て発刊の運びとなりました。

記念誌の発行を見送った主な理由は、内容が十周年記念誌と大差ないものになってしまふ可能性が強いと思われるからでした。それというのも、令和時代に入ってからコロナウィルス禍の嵐が吹き荒れ、所属団体のほとんどが活動の停滞・休止を余儀なくされたからです。

今年度は特集号で止めるかわりに、後年記念誌を発行する時の資料になる材料を盛り込むことを柱に編集しました。記念誌発行の折には、皆様方の要望や意見を取り入れて充実した内容にしたいと思っています。何時でも事務局までお寄せください。

思い出あれこれ

▼昭和五十一年九月、広見町文化協会創立。青木英篤会長のもと五十団体が集結。高齢の方には懐かしい「ひろみシネクラブ」（映画愛好会）等が活躍。広見町総合文化祭を毎年開催。五十九年には「ひろみ文化協会だより」を発刊。六十年からは役員視察研修も開始。

▼平成十七年の鬼北町誕生とともに、広見町文化協会は日吉村文化協会と合併し、鬼北町文化協会が産声をあげる。会報「鬼北の文化」を発刊し、町内全戸に配布。この年から「きほく美術展」（二十年から「きほく作品展」に改称）と「きほく芸能まつり」を開催、協会の主要行事とする。作品展は町主催の「でちこんか」に開催日を合わせたことにより、観覧者は毎年四〇〇人を超えている。

もう一つ、「県展移動展」について（往時をよく知る山本房子委員談より）当初、旧宇和島市・広見町・吉田町・津島町・愛南町が持ち回りで開催していた。平成十七年、宇和島市が開催をやめ、十八年から芝香会長の尽力で鬼北町開催となった。出展者の協力により和気藹藹で現在に至っている。



鬼北の文化編集委員

河 添 英 樹
山 本 房 子
松 岡 美 保
井 上 静 雄
佐 々 木 友 子
児 玉 正 則

～お知らせ～
鬼北町文化協会の情報を鬼北町のホームページに掲載しています。
過去に発行した本誌のデータを確認できます。

鬼北町文化協会



文化協会に加入しませんか

加入すれば

- ・ 地域のために活動できます
- ・ 他のグループと交流できます
- ・ 研修や発表の機会があります

お問合せ 鬼北町文化協会事務局
(鬼北町教育委員会内)
☎45-1111 (内線4112)